



MULTI SIGNAL SWITCHER

KSM0801A2

取扱説明書

お買い上げいただき誠にありがとうございます。

製品をご使用される前に必ずお読みください。

Ver 1.1

ご使用上の注意

ご使用前に、必ずこの「取扱説明書」をお読みください。
お読みになった後は、必ず装置の近くの見やすいところに大切に保管してください。

警告



- ・この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意



- ・この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

絵表示の説明

注意（警告を含む）
が必要なことを示す記号



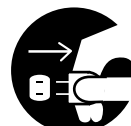
一般的注意



手をはさまれる



一般的指示



プラグをコンセントから抜く

してはいけない行為
（禁止行為）を示す記号



禁止



水ぬれ禁止



水場での使用禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

万一、製品の不具合や停電などの外的要因で、映像や音声の品質に障害を与えた場合でも、本製品の修理以外の責はご容赦願います。

警告

万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しない

火災や感電の原因になります。

- ・煙が出ている、変なにおいがするなどの異常のとき。
- ・内部に水や物が入ってしまったとき。
- ・落としたり、キャビネットが破損したとき。
- ・電源コードが傷んだとき(芯線の露出、断線など)。



このようなときはすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、本製品を設置した業者又は当社に修理を依頼してください。

お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。



表示された電源電圧(交流 100V)以外で使用しない

火災や感電の原因となります。



内部に物を入れない

通風孔などから金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。

ぬらさない

火災や感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、電源プラグをコンセントから抜く

感電の原因となります。



電源プラグは、すぐ抜ける場所にあるコンセントに差し込む

本製品に異常が発生したときは、電源プラグをコンセントからすぐ抜いてください。

本製品のカバー、キャビネットは外したり、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。
内部の点検・修理の際は当社にご連絡ください。



電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む

ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。
また、たこ足配線はしないでください。



電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- ・電源コードを加工しない。
- ・無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- ・電源コードの上に機器本体や重いものをのせない。
- ・電源コードを熱器具に近づけない。



⚠ 注意

次のような場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。

- ・湿気やほこりの多いところ。
- ・油煙や湯気の当たるところ。
- ・熱器具の近くなど。
- ・窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ。



他の機器と接続するときは、接続する機器の電源を切り、それぞれの取扱説明書に従う

指定以外のコードを使用したり、延長したりすると発熱し、火災、やけどの原因となることがあります。



通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部の熱が逃げないので、火災の原因となることがあります。

- ・横倒し、逆さま（あおむけ）にしない。

通風孔をふさいだり、すき間から異物を差し込まないでください。故障の原因となることがあります。



移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす

接続したまま移動するとコードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。



本製品の上に重い物を置かない

重い物や本体からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。



長時間使用しないときは電源プラグを抜く

電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、安全及び節電のため電源プラグを抜いてください。



お手入れをするときは電源プラグを抜く

電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、感電の原因となることがあります。



電源プラグはコードの部分を持って抜かない

電源コードを引っ張るとコードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。プラグの部分を持って抜いてください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



目次

1. はじめに	1
1-1. はじめに	1
1-2. 出荷時の設定	1
2. 製品概要	3
3. 各部の名称と機能	4
3-1. 前面パネル	4
3-2. 背面パネル	6
4. 操作方法	8
4-1. クロスポイント操作	8
4-2. その他の特殊操作ボタン	9
4-3. 音声ボリューム操作	11
4-4. オンスクリーンメニューによる各種設定	16
4-5. 設定のリセット	19
5. DIPスイッチの設定	20
5-1. DIPスイッチ M.SW1、底面DIPスイッチ	20
5-2. DIPスイッチ M.SW2	23
6. シリアル外部制御	24
6-1. シリアルインターフェースの設定	24
6-2. ケーブル結線	25
6-3. クロスポイント操作	26
6-4. セーブ・ロード操作	28
6-5. 音声ボリューム操作	29
6-6. 状態読出しコマンド	31
6-7. IP設定コマンド	34
6-8. ビジーコマンド	36
7. パラレル外部制御	37
7-1. ピンアサイン	37
7-2. コネクタピン配置	38
7-3. 使用方法	38
8. LANによる外部制御	39
8-1. 特徴	39
8-2. コネクタ部LED	39
8-3. ケーブル結線	39
8-4. IPアドレス、TCP/IPポート、MACアドレス	40
8-5. TCP/IP接続による外部制御	41
8-6. WEB運用画面の表示	42
8-7. WEB設定画面の表示	44
9. 主な仕様	47

1 . はじめに

1 - 1 . はじめに

本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

お使いになる前に必ず本取扱説明書をお読みになり、本製品に関してご理解いただいた上でお使いください。

1 - 2 . 出荷時の設定

本製品は出荷時、以下の設定になっております。

・クロスポイント

映像/音声共に、

RGBOUT IN1

モニター出力 IN1

・クロスポイントメモリー内容

全メモリーにおいて映像/音声共に、

RGBOUT IN1

モニター出力 IN1

・音声ボリューム関連

入力部ボリューム値

すべての入力(IN1～8、OFF)において、

セレクト音声 ±0dB

ライン音声 ±0dB

マイク音声1,2 MUTE

出力部ボリューム値

出力(RGBOUT)において、

セレクト音声 ±0dB

ライン音声 ±0dB

マイク音声1,2 ±0dB

ボリューム表示 出力部ボリューム-セレクト音声を表示

ボリューム可変範囲 - 34dB ~ +6dB

・WEB画面設定値

システム名	KSM0801A2
OUT1接続機器名	出力1
NTSC出力接続機器名	NTSC出力
IN1～8入力名	入力1～8
画面表示	すべて表示
自動更新	自動更新なし
コメント	コメントを入力してください
IPアドレス	192.168.0.100
サブネットマスク	255.255.255.0
TCP/IPポート	49152

・入力信号種類

IN1～4	NTSC - コンポジット信号 (変更不可)
IN5～8	アナログRGB信号

・DIPスイッチ M.SW1

通信速度	9600bps
起動後のクロスポイント設定	電源断時のクロスポイント状態で起動
WEBブラウザアクセス認証設定	アクセス認証有効

・底面DIPスイッチ

メニューキーロック	キーロック無効
ボリュームキーロック	キーロック無効
クロスポイントキーロック	キーロック無効
ボリューム押下操作キーロック	キーロック無効
出力部ボリューム連動設定	SELECT、LINE、MICを連動設定
アンサーバック設定	受信したコマンドをそのままアンサーバック
シリアルコマンド設定	本取扱説明書記載のシリアルコマンド
出力部ボリューム表示設定	デシベル表示

・各パスワード

WEB運用画面パスワード	KSM0801A2
WEB設定画面パスワード	KSM0801A2
TCP/IPログインパスワード	KSM0801A2

2. 製品概要

本製品は、NTSC - コンポジット信号をアナログRGB信号に変換するコンバータを内蔵した、マルチシグナルスイッチャーです。NTSC - コンポジット信号入力を内部でアナログRGB信号に変換することにより、NTSC - コンポジット信号とアナログRGB信号の2種類の入力信号を、アナログRGB信号に統一して出力でき、AVシステムの構成を容易にすることが可能です。

本製品は、NTSC - コンポジット信号専用入力4系統、アナログRGB信号/ NTSC - コンポジット信号兼用入力4系統の、計8系統の映像信号を入力でき、アナログRGB信号出力1系統、モニター用NTSC信号出力1系統の、計2系統の映像出力に切り替えて出力することが可能です。アナログRGB信号出力には、入力の選択により、アナログRGB信号入力をそのまま出力するか、NTSC - コンポジット信号入力をアナログRGBにアップコンバートして出力します。

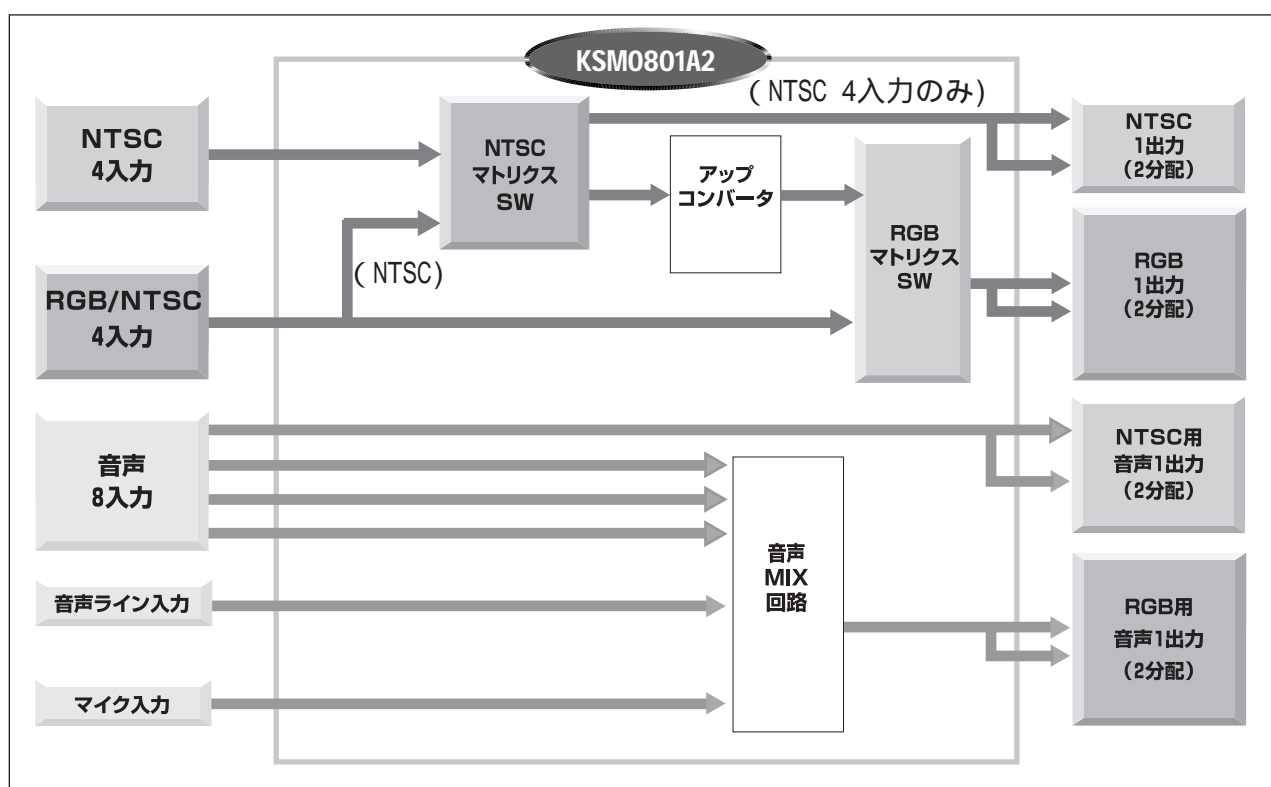
モニター用NTSC信号出力には、4系統のNTSC - コンポジット信号専用入力より1つ選択して出力します。

また、上記映像入力と連動したステレオアンバランス入力8系統、ライン入力用のステレオアンバランス入力1系統、マイク用のモノラルバランス入力2系統を入力でき、1系統のステレオアンバランス音声出力と、1系統のモニター用ステレオアンバランス出力の、計2系統の音声出力に映像と連動して切り替えて出力することが可能です。

音声回路部にはオーディオミックス回路を内蔵しており、8系統の入力より選択した音声入力と、ライン入力用音声入力および2系統のマイク入力をミックスして1系統のステレオアンバランス音声出力に出力することが可能です。さらに本製品は音声ボリューム調整回路を内蔵しているため、それぞれの音声入力、また切り替えたあとの音声出力の音声ボリュームを調整することが可能です。

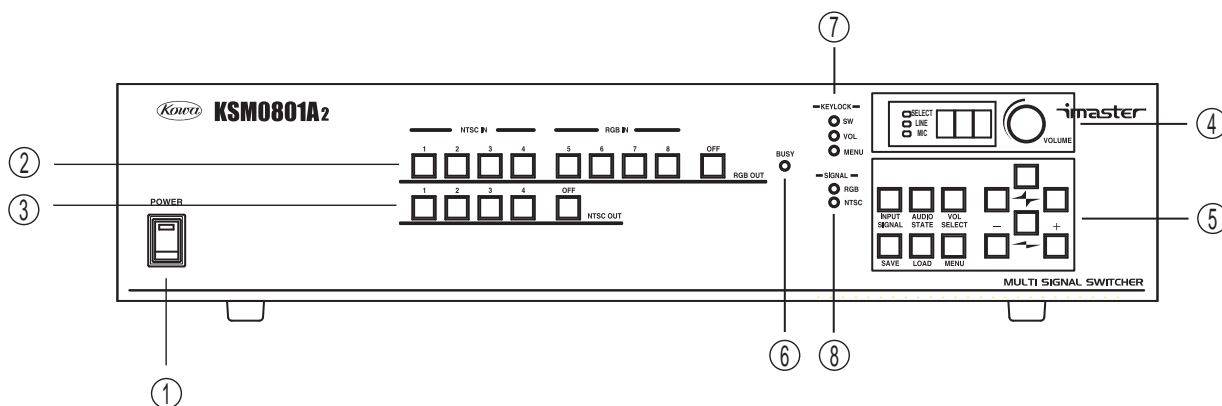
本製品は、フロントパネル、パラレルリモート、RS232C、RS422A、LANより制御が可能です。LANによる制御では、WEBブラウザを用いて制御することが可能になっており、さらにWEBブラウザに表示されるボタン名等をカスタマイズすることが可能です。

注意！本製品はPAL、SECAMには対応していません。



3 . 各部の機能と名称

3 - 1 . 前面パネル



電源スイッチ

付属の電源コードを接続した後、このスイッチをオンすることにより電源が入ります。通電中は電源スイッチの緑ランプが点灯します。

注意! 本製品は電源投入後から、正常起動するまで約7秒かかります。また、この間はすべての操作を受け付けませんので、AVシステム設計において考慮する必要があります。起動中はフロントパネルのリモートビジーLEDが点灯します。

RGBOUT選択ボタン

RGBOUTにどの入力映像・音声を出力するかを選択するボタンです。OFFを選択した場合は何も出力されません。また、クロスポイントの状態を記憶するためのメモリナンバーを選択するボタン、入力信号切替時に入力を選択するボタン、入力部ボリューム設定時に入力を選択するボタンも兼ねています。

注意! OFFを選択した場合の同期信号出力の有無を各出力毎に設定することが可能です。詳しくは、"4 - 4 オンスクリーンメニューによる各種設定"を参照してください。

注意! IN5～8はアナログRGB信号のかわりにNTSC - コンポジット映像信号を入力し、アナログRGB信号に変換して出力することが可能です。ただし、IN5～8に入力したNTSC - コンポジット映像信号はモニター用NTSC信号出力には出力できません。

モニター用信号出力選択ボタン

モニター用信号出力にどの入力映像・音声を出力するかを選択するボタンです。
OFFを選択した場合は何も出力されません。

注意! モニター用NTSC信号出力はIN1～4に入力されたNTSC - コンポジット映像のみ出力可能です。

注意! モニター用音声信号出力はIN1～8に入力された音声入力を出力可能です。IN5～8に入力された音声を出力する場合は、シリアル、LAN経由で操作を行う必要があります。

注意! モニター用音声信号出力にはミキシング及びボリューム調整機能はありません。

音声ボリューム調整部

入力される音声のボリューム調整を行うことができます。
詳しくは、"4 - 3 音声ボリューム操作"を参照してください。

特殊操作ボタン

オンスクリーンメニュー等の操作、クロスポイントの保存/読出、音声選択状態表示等を行うボタン群です。詳しくは、"4 - 2 その他の特殊操作ボタン"および"4 - 4 オンスクリーンメニューによる各種設定"を参照してください。

リモートビジーLED

RS232C、RS422A、LANからの制御信号を処理しているときに点灯します。
また、電源投入後、正常起動するまでの操作を受け付けない時間中も点灯します。

注意! 有効でないコマンドを受け取った場合は、リモートビジーLEDは点灯しません。

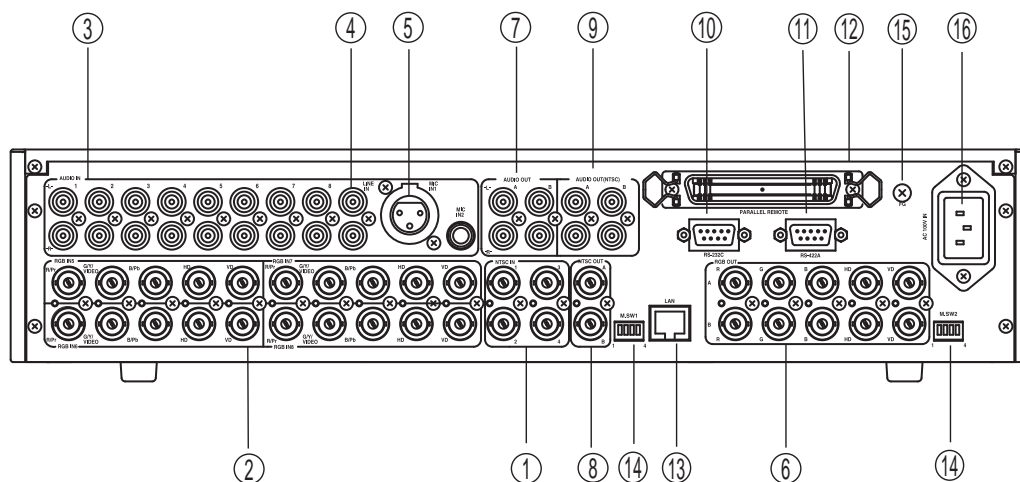
キーロック表示LED

キーロックの状態を表示します。詳しくは、"5 . DIPスイッチの設定"を参照してください。

入力映像信号表示LED

RGBOUTで選択されている入力チャンネルの映像信号の種類を表示します。
詳しくは、"4 - 2 その他の特殊操作ボタン"を参照してください。

3 - 2 .背面パネル



NTSC - コンポジット映像信号入力コネクタ (BNC)

IN1 ~ 4はNTSC - コンポジット映像信号を入力するコネクタです。

アナログRGB信号/NTSC - コンポジット信号入力コネクタ (BNC)

IN5 ~ 8はアナログRGB信号かNTSC - コンポジット信号を入力するコネクタです。

以下に示すようにケーブルを接続してください。

- ・ NTSC - コンポジット信号 "G/Y/VIDEO"と記されたコネクタに接続してください。
- ・ アナログRGB信号 背面の表記に従い、R、G、B、HD、VDの各コネクタに接続してください。

注意! ハイビジョン (Y、Pb、Pr) の信号を切り替えたい場合は、入力信号の設定をアナログRGBに設定し、R、G、Bのコネクタに接続してください。出力コネクタのR、G、Bよりスルーで出力します。

音声入力コネクタ (RCAピンジャック)

8系統のステレオアンバランス音声の入力コネクタです。

上記、 の映像入力と同期した音声を入力します。

ライン音声入力コネクタ (RCAピンジャック)

1系統のステレオアンバランス音声の入力コネクタです。

マイク用モノラルバランス音声入力コネクタ (XLR - 3 - 31、6.3mmTRSフォンジャック)

2系統のマイク用モノラルバランス音声の入力コネクタです。

注意! 本製品はマイク部にハウリング除去機能を内蔵しておりません。
システム構成によっては別途ハウリング除去器を挿入する必要があります。

アナログRGB映像出力コネクタ (BNC)

アナログRGB映像出力コネクタです。NTSC - コンポジット映像信号入力を選択した場合は、内部でアナログRGB信号に変換し、出力します。アナログRGB信号入力を選択した場合は、変換を行わずそのまま出力します。出力は2分配されております。

音声出力コネクタ(RCAピンジャック)

ステレオアンバランス音声の出力コネクタです。 の音声入力から1系統選択し、 、 の音声入力をミックスして出力します。また、出力する音声のボリューム調整を行うことが可能です。

詳しくは" 4 - 3 音声ボリューム操作"、" 6 - 5 音声ボリューム操作"を参照してください。出力は2分配されております。

モニター用NTSC信号出力コネクタ(BNC)

モニター用のNTSC信号出力コネクタです。上記 に入力された映像信号を出力します。出力は2分配されております。

モニター用音声出力コネクタ(RCAピンジャック)

モニター用の音声出力コネクタです。上記 IN 1~8に入力された音声信号を出力します。出力は2分配されております。

注意! モニター用音声出力にはミックス/ボリューム調整機能はありません。
に入力された音声信号をそのまま出力します。

注意! IN5~8に入力された音声信号を出力する場合は、シリアル、またはLANによる制御を行う必要があります。

RS232Cコネクタ(DSUB9ピン インチネジ オス)

RS232Cにより外部制御を行う際に使用します。

RS422Aコネクタ(DSUB9ピン インチネジ メス)

RS422Aにより外部制御を行う際に使用します。

パラレルリモートコネクタ(アンフェノール50P メス × 1)

リレー、スイッチなどによるリモートコントロール入力、また、LEDなどへのリモート出力を行うためのコネクタです。

LAN制御用コネクタ(RJ - 45)

LAN経由で本製品を制御するためのコネクタです。
詳しくは" 8 . LANによる外部制御"を参照してください。

△ 注意! 当社で取り扱っているCAT5延長器KEシリーズもRJ - 45コネクタを使用しておりますが、電氣的に異なる信号を取り扱っているため、本製品とKEシリーズをLANケーブルで接続しないでください。故障の原因となります。

制御DIPスイッチ

本体の設定を変更するためのDIPスイッチです。
詳しくは" 5 . DIPスイッチの設定"を参照してください。

アース端子

屋内のアース端子と接続するために使用します。

電源コード接続部

付属の電源コードでAC100Vに接続します。

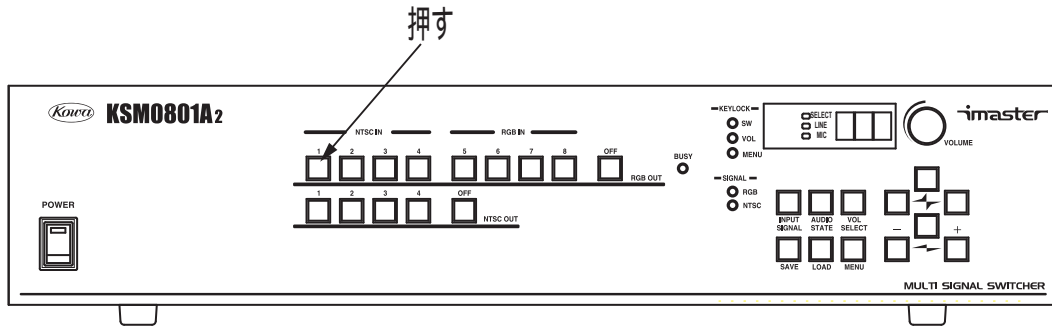
4 . 操作方法

4 - 1 . クロスポイント操作

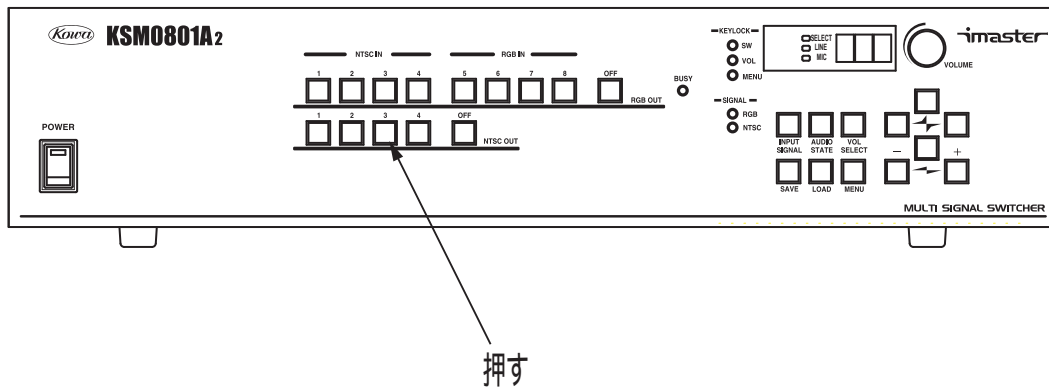
前面パネルにならんだクロスポイント操作ボタンを操作して、RGB出力、モニターのそれぞれに出力する映像・音声信号を選択します。選択された入力のボタンが点灯します。

例

IN1をRGBOUTに出力する。



IN3をNTSCOUTに出力する。



4 - 2 .その他の特殊操作ボタン

・セーブ(SAVE)

本製品はクロスポイントの状態を8パターンまで内部に保存することが可能です。

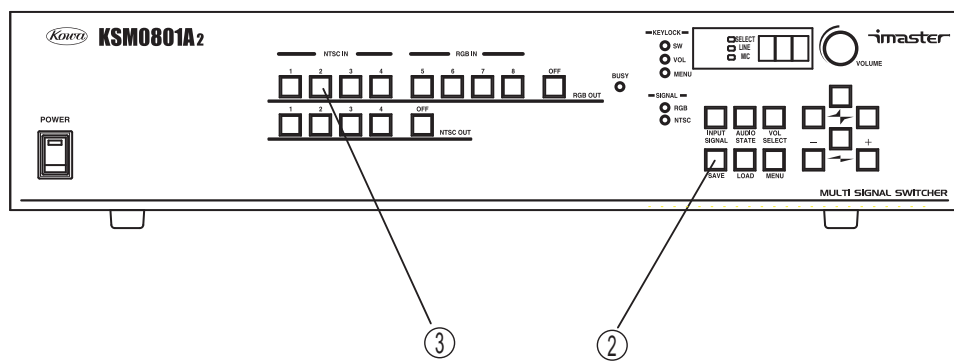
例 メモリ2にクロスポイントをセーブする

セーブを行いたいクロスポイントに本製品を設定します。

クロスポイントの選択に関しては、" 4 - 1 クロスポイント操作"を参照してください。

セーブボタンを押します。(RGBOUT選択ボタンのIN1~8がすべて点灯します)

RGBOUT選択ボタン NTSC IN2 (メモリ2)を押します。



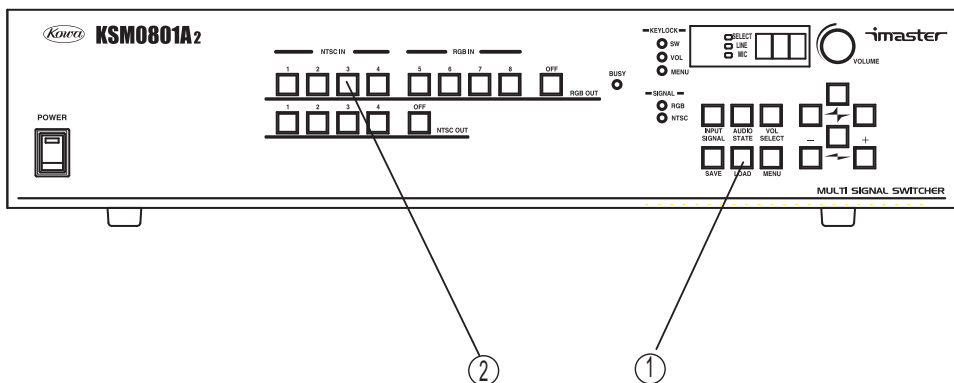
・ロード(LOAD)

本製品の内部に保存したクロスポイントの状態を、読み出すことが可能です。

例 メモリ3に保存されたクロスポイントを読み出す

ロードボタンを押します。(RGBOUT選択ボタンのIN1~8がすべて点灯します)

RGBOUT選択ボタン NTSC IN3 (メモリ3)を押します。



・音声状態表示(AUDIO STATE)

このボタンには以下の4つの機能が割り当てられています。

1. 音声クロスポイント表示

このボタンを押下している間、通常映像のクロスポイントの状態を表示しているクロスポイント切替ボタンLEDが、音声のクロスポイントの状態表示に切り替わります。

2. ピーク検出機能

本製品はピーク検出機能をOUT1の出力部に内蔵しており、OUT1の音声出力レベルが+13dBuを超えるとこのボタンが点灯します。

3. 2系統のマイク入力を個別にオン/オフする機能

このボタンを押下しながらSAVE/LOADボタンを押下することで、マイク1、2の各入力の入力/オフを設定することができます。マイク1がLOAD、マイク2がSAVEボタンに対応しており、SAVE/LOADの各ボタンが点灯状態のときは、対応したマイク入力はオン状態で、消灯状態のときはオフとなります。ただしマイク1、2ともにオフ状態にすることはできません。マイク1、2ともにオフ状態にする場合は、マイクのボリュームを操作してオフにしてください。

4. 出力部ボリュームの可変範囲を変更する機能

このボタンを押下しながらMENUボタンを押下することで、出力部ボリュームの可変範囲を変更することができます。MENUボタンが点灯状態のときは、出力部ボリューム可変範囲が-34dB~+6dBとなり、消灯状態のときは-20dB~+20dBとなります。出力部ボリューム可変範囲を変更すると、出力部ボリューム値が0dBに戻ります。

注意! 音声状態表示ボタンを押している間はフロントパネルのすべてのボタンにキーロックがかかりますが、パラレル(SAVE、LOAD除く)、シリアルからの外部制御は可能です。

注意! オンスクリーンメニュー表示中、メニューボタン点滅中、セーブ・ロードボタン点灯中は音声状態表示ボタンを使用することはできません。

注意! パラレル外部制御のタリーアウトは音声状態表示ボタンの影響を受けません。常に映像のクロスポイントの状態を出力します。

・入力信号切替(INPUT SIGNAL)

OUT1において、映像信号の入力(IN5~8)を選択し、このボタンを押下すると、押下する毎にアナログRGB、NTSC - コンポジットの間で映像信号の種類が切り替わります。現在選択されている入力信号は、入力映像信号表示LEDに表示します。入力信号の設定をNTSC - コンポジットにすると、G/Y/VIDEOのBNCコネクタに入力されたNTSC - コンポジット映像信号をアナログRGB信号にアップコンバートして出力します。入力信号の設定をアナログRGBにすると、入力されたアナログRGB信号をそのまま出力します。

注意! ハイビジョン(Y、Pb、Pr)の信号を切り替える場合は、入力信号の設定をアナログRGBにし、R、G、Bのコネクタに接続してください。出力コネクタのR、G、Bよりスルーで出力します。

・音声ボリューム操作切替(VOL SELECT)

音声ボリューム操作部の表示と操作を行う音声ボリュームを変更します。
詳しくは"4 - 3 音声ボリューム操作"を参照してください。

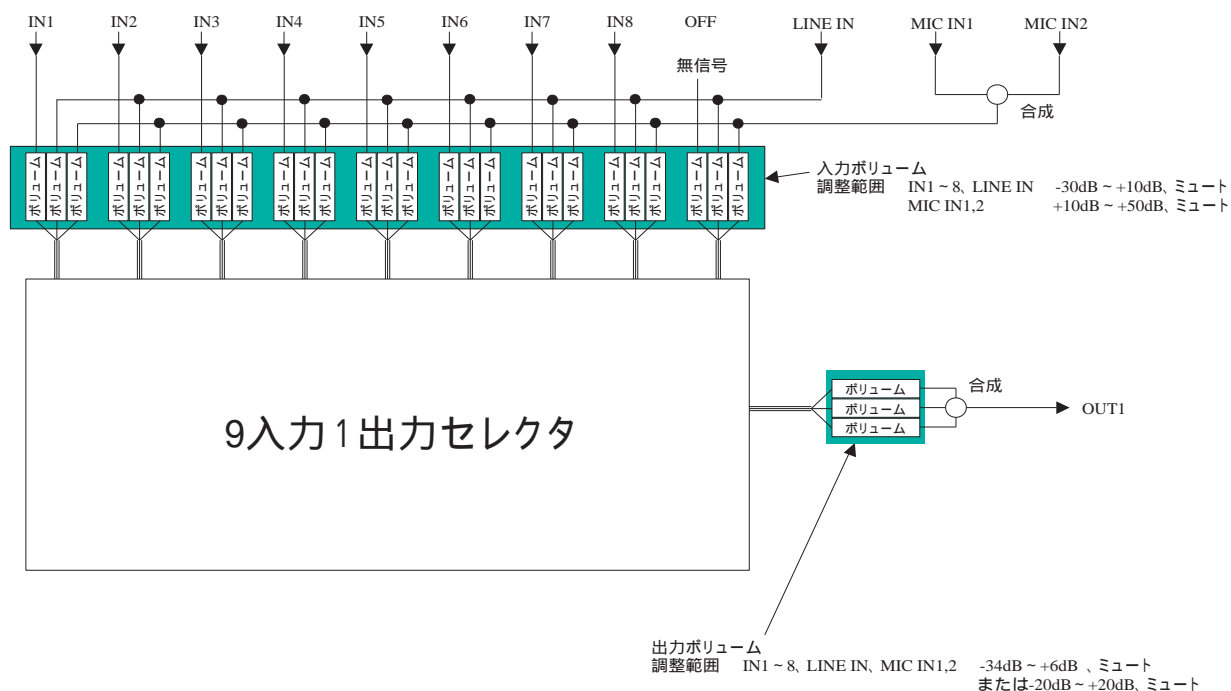
・メニューボタン(MENU)

オンスクリーンメニューにて、内蔵アップコンバータの設定を変更する場合に使用します。
詳しくは"4 - 4 オンスクリーンメニューによる各種設定"を参照してください。

4 - 3 .音声ボリューム操作

本製品は、音声回路部にオーディオミックス回路を内蔵しており、8系統の入力より選択した音声入力と、ライン入力用音声入力及び2系統のマイク入力をミックスして1系統のステレオアンバランス音声出力に出力することが可能です。さらにボリューム調整回路を内蔵しているため、音声ボリュームの調整をすることが可能です。

本製品の音声切替部の構成図は下図のようになっております。



入力部分と出力部分にそれぞれボリューム調整部があります。入力部のボリュームは主にシステムセットアップ時に使用し、各入力の音声レベルの統一などに使用できます。出力部のボリュームは主にシステム運用時のボリューム調整に使用できます。

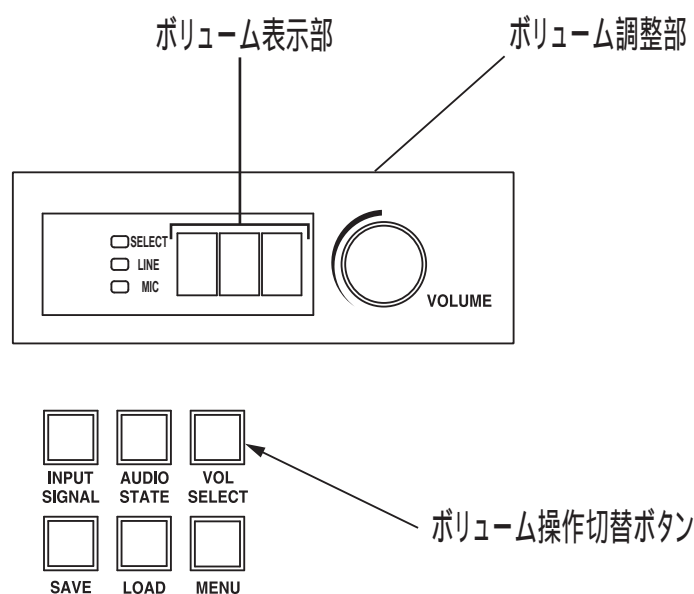
音声ボリュームは、フロントパネル、RS232C、RS422A、LANより制御が可能です。

RS232C、RS422A、LANでの制御に関しては、" 6 . シリアル外部制御"、" 8 . LANによる外部制御"を参照してください。

注意! 本製品はマイク部にハウリング除去機能を内蔵しておりません。システム構成によっては別途ハウリング除去器を挿入する必要があります。

注意! マイク入力1、2は1つの音声ボリュームで同時に制御を行います。個別にボリューム調整することはできません。

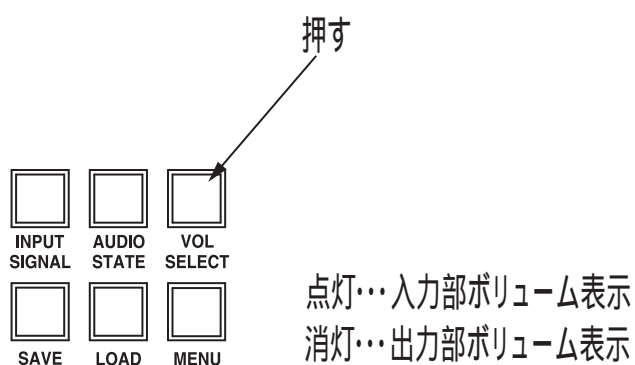
フロントパネルより音声のボリューム操作を行う場合、ボリューム調整部および、ボリューム操作切替ボタンを使用します。



・出力部/入力部のボリューム切替

フロントパネルのボリューム調整部は、常に入力部/出力部のどちらかのボリュームの状態を表示しています。ボリュームの表示を切り替えるには、ボリューム操作切替ボタンを使用します。

ボリューム操作切替ボタンを押下する毎にボタンが点灯/消灯を交互に繰り返します。ボタンが消灯すると出力部ボリュームを表示し、点灯すると入力部ボリュームを表示します。



・入力部ボリュームの調整

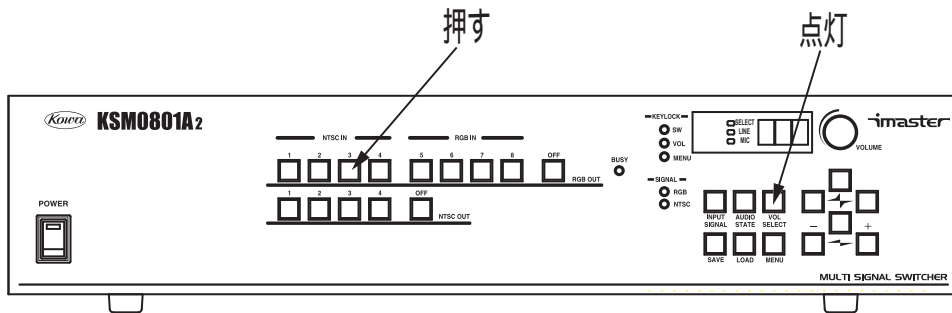
入力部ボリュームの調整は以下の手順で行います。

ボリューム操作切替ボタンを点灯状態にしてください。(入力部ボリューム表示)

調整を行う入力チャンネルの選択

入力部ボリューム調整はRGBOUT系統で選択された入力チャンネルに対して行われます。
調整を行いたい入力チャンネルをRGBOUT系統にて選択してください。

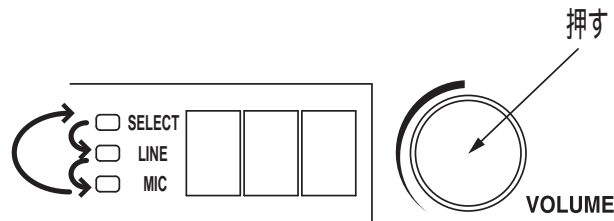
例 IN3の入力部ボリュームを操作したい場合



セレクト音声、ライン音声、マイク音声の選択

次にボリューム調整を行う音声入力の選択を行います。

ボリューム調整つまみを押すと、下図に示すLEDが順に点灯し、セレクト音声、ライン音声、マイク音声を選択することができます。



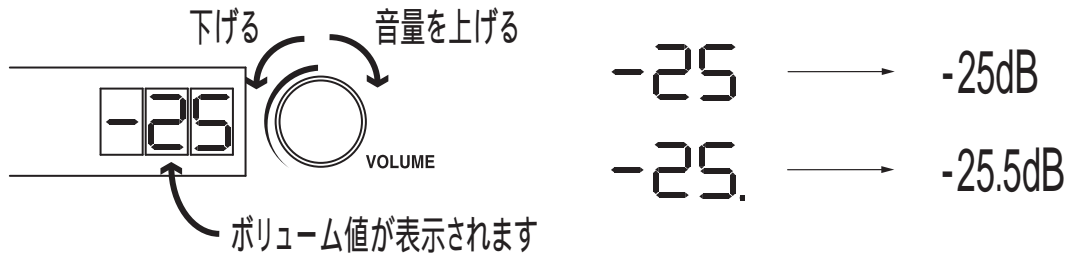
注意! 入力部ボリュームの表示はRGBOUT系統の音声クロスポイントの設定により切り替わります。シリアルからの操作等で映像と音声のクロスポイントが異なる場合は、フロントパネルのRGBOUT系統のボタン表示と入力部ボリュームの表示が異なります。

つまみ操作によるボリューム値の調整

以上の操作を終了し、ボリューム調整つまみを左右にまわすとボリューム値を調整することができます。

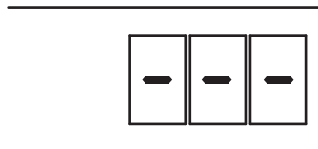
時計回りにまわすとボリュームが上がります、反時計回りにまわすとボリュームが下がります。

1クリック毎に0.5dBステップでボリューム値が変化します。ボリューム値はボリューム表示部にdB単位で表示します。また、小数点以下が0.5dBの場合はピリオドが点灯します。



ボリューム値の可変範囲はセレクト音声、ライン音声は - 30dB ~ + 10dB、マイク音声は + 10dB ~ + 50dBとなっています。

ボリュームが最低値になった時点で、さらにボリューム調整つまみ反時計回りに回転させると、下図のような表示になり、音声はミュートされます。



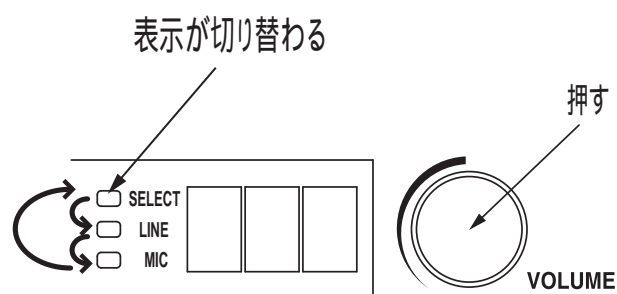
・出力部ボリュームの調整

出力部ボリュームの調整は以下の手順で行います。

ボリューム操作切替ボタンを消灯状態にしてください。(出力部ボリューム表示)

セレクト音声、ライン音声、マイク音声の選択

ボリューム調整つまみを押すと、下図に示すLEDが順に点灯し、セレクト音声、ライン音声、マイク音声を選択することができます。



また、DIPスイッチにより、セレクト、ライン、マイクの各音声を同時に制御することも可能です。詳しくは"5 .DIPスイッチの設定"を参照してください。

つまみ操作によるボリューム値の調整

入力部ボリュームの調整と同様にボリューム値の調整ができます。

ボリューム値の可変範囲は - 34dB ~ + 6dBおよび - 20dB ~ + 20dBです。ボリューム値が最小値になった時点でさらにボリューム調整つまみを反時計回りに回転させると、音声がミュートされます。ボリューム値の可変範囲の変更に関しては、“4 - 2 .その他の特殊操作ボタン”を参照してください。

また、DIPスイッチによりフロントパネルのボリューム表示を0~80の表示に切替えることができます。詳しくは“5 .DIPスイッチの設定”を参照してください。

4 - 4 . オンスクリーンメニューによる各種設定

本製品はオンスクリーンメニューにて、内蔵アップコンバータの各種設定を行うことができます。

・ 操作手順

メニューボタンを押します。メニューボタンが点滅します。

設定を行いたいクロスポイントを選択します。

メニューボタンが点灯し画面上にオンスクリーンメニューが表示されますので、十字ボタン、" + "、" - " ボタンで操作し、設定を行います。

設定が終了したら、再度メニューボタンを押します。

オンスクリーンメニューが消え、メニューボタンが消灯し、設定が本体に保存されます。

注意! アナログRGB信号が入力されているクロスポイントは選択できません。

注意! 設定が終了しましたら、必ずメニューボタンを押してオンスクリーンメニューから抜けてください。オンスクリーンメニューが表示されたまま電源を切りますと変更した設定が保存されませんので注意してください。

注意! 出力設定のフォーマットを変更するとフォーマット以外の項目が全てリセットされます。フォーマットは最初に設定してください。

・ オンスクリーンメニューによる設定項目

1. 画質調整 (Image)

輝度調整 (Brightness)

輝度の調整を行うことができます。

コントラスト (Contrast)

コントラストの調整を行うことができます。

彩度調整 (Saturation)

彩度の調整を行うことができます。

色相調整 (Hue)

色相の調整を行うことができます。

シャープネス (Sharpness)

シャープの調整を行うことができます。

ゲイン設定 (Gain)

NTSC入力のAGCの設定を行います。通常はOFFのままです。

2. サイズ調整(Size)


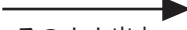


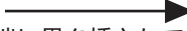







ズーム(Zoom)

映像をズームすることが可能です。

アスペクト比(Aspect Ratio)

アスペクト比の設定を4:3、16:9の中から選択することが可能です。

4:3、16:9設定時の動作を下図に示します。

設定	出力解像度	動作
4:3	1360 × 768 以外	   そのまま出力
	1360 × 768	   両端に黒を挿入して出力
16:9	1360 × 768 以外	   垂直方向に縮小して出力
	1360 × 768	   水平方向に引き伸ばして出力

3. 入力位置調整(In Position)

水平位置(Horizontal Position)

入力映像の取り込み位置を左右に移動させ調整することができます。

垂直位置(Vertical Position)

入力映像の取り込み位置を上下に移動させ調整することができます。

X位置(X Position)

ズーム映像において左右に映像を移動させることが可能です。映像の端まで移動可能です。この調整項目は映像がズームされていない状態では調整できません。

Y位置(Y Position)

ズーム映像において上下に映像を移動させることが可能です。映像の端まで移動可能です。この調整項目は映像がズームされていない状態では調整できません。

4. 出力設定(Output)

出力設定はすべての入力で共通設定となります。

フォーマット(Format)

出力映像の解像度をVGA, SVGA, XGA, SXGA, 1360×768, SXGA+の中から選択可能です。フォーマットを変更するとフォーマット以外の項目が全てリセットされます。

出力同期信号(Ver Frequency)

出力同期信号を60Hz、VLOCKから選択することが可能です。60HzはVESA規格に準拠した信号フォーマットで出力します。VLOCKは、入力信号に同期した垂直同期信号で出力します。

OFF時同期信号設定(Sync Enable)

クロスポイントで映像OFFを選択した場合の、同期信号の有無を設定できます。

台形補正(Keystone)

アップコンバート映像の台形補正が可能です。設定可能な補正角度は±10°程度です。

出力位置調整(Output Position)

. 水平移動(Horizontal)

映像の表示領域を水平方向に移動させることが可能です。

. 垂直移動(Vertical)

映像の表示領域を垂直方向に移動させることが可能です。

総ドット数(Dot Clock)

出力する水平方向の総ドット数の調整が可能です。

映像枠表示(Marker)

アップコンバート映像の両端にグレーのラインを表示し、接続されるプロジェクタ等に映像の領域を明示することができます。OFFを選択した場合は映像枠は表示されません。ONを選択した場合は、アップコンバート映像に常に映像枠が表示されます。ON->OFFを選択した場合は、以下のタイミングで約5秒間だけ映像枠を表示します。

- ・ NTSC入力で起動したとき
- ・ RGB入力 NTSC入力と切り替えたとき
- ・ OFF NTSC入力と切り替えたとき (ただしOFF時同期出力設定がOFFのとき)

ON->OFFを選択した場合は、後段のプロジェクタ等が、入力信号変更時に自動調整機能が有効になるように設定されている場合、最小限の枠表示でプロジェクタ等に映像の位置を明示可能です。

注意! 本体リセット時はON->OFFがデフォルト設定になります。必要のない場合はOFFに設定してください。

テストパターン(Test Pattern)

テストパターンを表示することができます。映像の位置調整をする際などにご利用ください。

5. 言語(Language)

オンスクリーンメニューの表示言語を英語または日本語に切り替えることが可能です。

4 - 5 .設定のリセット

本製品に設定した項目をリセットしたい場合は、"+"、"- "ボタンを同時に押しながら電源を立ち上げなおしてください。

クロスポイント、クロスポイントメモリ、ボリューム、ボリューム表示、入力信号種類、OSD設定が出荷時の設定に戻ります。

注意! "+"、"- "ボタンは、電源立ち上げ時から正常にクロスポイントが表示されるまでの間押し続けてください。

注意! WEB関連の設定はリセットされません。

5 . DIPスイッチの設定

本体背面のDIPスイッチ及び底面DIPスイッチは各種の機能が割り当てられています。
背面のDIPスイッチは、上に倒すことでオンとなります。
底面のDIPスイッチは、"OPEN"と書いてあるほうに倒すとオンとなります。
DIPスイッチ操作は、電源を切った状態で行ってください。

5 - 1 .DIPスイッチ M.SW1、底面DIPスイッチ

M.SW1

番号	機能	出荷時状態
1	通信速度設定	9600bps
2		
3	起動後のクロスポイント設定	電源断時のクロスポイント状態で起動
4	WEBブラウザアクセス認証設定	アクセス認証有効

底面DIPスイッチ

番号	機能	出荷時状態
1	メニューのみキーロック	操作可能
2	ボリュームキーロック	操作可能
3	クロスポイント切替ボタンをキーロック	操作可能
4	ボリュームつまみ押下操作キーロック	操作可能
5	出力部ボリューム連動設定	セレクト、ライン、マイク音声を連動設定
6	アンサーバック設定	受信したコマンドをアンサーバック
7	シリアルコマンド設定	本取扱説明書記載のコマンド
8	出力ボリューム表示切替	デシベルで可変範囲を表示

・通信速度設定

本体背面のRS232Cポート、RS422Aポートの通信速度を設定します。

	2400bps	4800bps	9600bps	19200bps
M.SW1 1	オフ	オン	オフ	オン
M.SW1 2	オフ	オフ	オン	オン

・起動後のクロスポイント設定

オンに設定すると、電源立ち上げ時に、メモリ1にセーブしたクロスポイントをロードして起動します。オフに設定した場合は電源断時のクロスポイントで起動します。

・WEBブラウザアクセス認証設定

オンに設定するとWEBブラウザの操作画面、設定画面の表示にアクセス認証が必要になります。オフに設定した場合は、認証をすることなく誰でもWEBブラウザの操作画面、設定画面を表示することが可能になります。

注意! 本製品はアクセス認証にダイジェスト認証を使用しています。ダイジェスト認証に対応したブラウザを使用してください。

・メニューのみキーロック

DIPスイッチをオンにし本製品の電源を入れると、フロントパネルのキーロック表示LEDの"MENU" LEDが点灯し、フロントパネルのクロスポイント、ボリュームつまみ以外のボタンがキーロック状態になります。解除する場合は、DIPスイッチをオフにし、電源を入れなおしてください。
また、キーロック中においてもシリアル、パラレル、LAN等の外部制御は可能です。

・ボリュームキーロック

DIPスイッチをオンにし本製品の電源を入れると、フロントパネルのキーロック表示LEDの"VOL" LEDが点灯し、フロントパネルのボリュームつまみの機能がキーロックされ、フロントパネルからボリューム調整を行うことができなくなります。
解除する場合は、DIPスイッチをオフにし、電源を入れなおしてください。
また、キーロック中においてもシリアル、パラレル、LAN等の外部制御は可能です。

・クロスポイント切替ボタンをキーロック

DIPスイッチをオンにし本製品の電源を入れると、フロントパネルのキーロック表示LEDの"SW" LEDが点灯し、フロントパネルのクロスポイント切替ボタンがキーロック状態になります。
解除する場合は、DIPスイッチをオフにし、電源を入れなおしてください。
また、キーロック中においてもシリアル、パラレル、LAN等の外部制御は可能です。

・ボリュームつまみ押下操作をキーロック

DIPスイッチをオンにし本製品の電源を入れると、フロントパネルのボリュームつまみの押下操作がキーロック状態になります。解除する場合は、DIPスイッチをオフにし、電源を入れなおしてください。

・キーロックの一時的な解除に関して

一時的にキーロックを解除したい場合は、IN1-RGBOUT選択ボタンのみを押しながら電源を入れることにより、次回電源投入時まで全てのキーロックを解除することができます。

注意! キーロックを一時的に解除する場合に、IN1-RGBOUT選択ボタン以外に他のフロントパネルのボタンが同時に押されていた場合、キーロックは解除されません。

・出力部ボリューム連動設定

DIPスイッチをオンにし本製品の電源を入れると、出力部ボリュームのSELECT、LINE、MICのLEDがすべて点灯し、セレクト音声、ライン音声、マイク音声をすべて連動してボリュームつまみで制御することができます。また、パラレル外部制御にて出力部ボリュームを制御することが可能です。
オフの場合はセレクト音声、ライン音声、マイク音声を個別に制御することができます。

注意! 個別設定から連動設定に変更した場合、セレクト音声、ライン音声、マイク音声のボリューム値はすべてセレクト音声のボリューム値に統一されます。

注意! 連動設定の場合、WEBブラウザには、LINE、MICボリュームは表示されません。
またコマンドも無効になります。

・アンサーバック設定

RS232C、RS422A、TCP/IPにより制御を行った場合のアンサーバックの設定を行います。アンサーバック設定をオフにすると、本製品が受信したコマンドを、コマンド受付時にそのままアンサーバックします。アンサーバック設定をオンにすると、以下の表に示すコマンドを返信します。

また、アンサーバック設定はシリアルコマンド設定オフ時のみ機能します。

有効なコマンドを受け取った場合

キャラクタ表現	O	K	CR(リターン)
ASCII表現	4FH	4BH	0DH

無効なコマンドを受け取った場合

キャラクタ表現	N	G	CR(リターン)
ASCII表現	4EH	47H	0DH

・シリアルコマンド設定

本製品は、シリアルコマンド設定を変更することにより、クロスポイン制御、セーブ/ロード、状態読出しのコマンドをKSM0801Sと互換性のあるものに変更することが可能です。

シリアルコマンド設定をオフにすると、本取扱説明書記載のシリアルコマンドになります。シリアルコマンド設定をオンにすると、KSM0801Sと互換性のあるコマンドになります。

注意! LANのTCP/IP制御時のコマンドもシリアルコマンド設定の影響を受けます。
シリアルコマンド設定をオンにすると、KSM0801Sと互換性のあるコマンドになります。

・出力部ボリューム表示切替

フロントパネルの出力部ボリュームの表示を0～80に変更することができます。
DIPスイッチがオンの時、0～80の表示になり、オフの時はデシベル表示になります。

5 - 2 .DIPスイッチ M.SW2

DIPスイッチ M.SW2は、以下の機能が割り当てられています。

番号	機能	出荷時状態
1	CS出力設定	HVで出力
2	HV極性設定1	RGB入出力、コンバーター共に HV極性操作無し
3	HV極性設定2	
4	HV波形整形	波形整形無し

・CS出力設定

オンにすると、内蔵アップコンバート出力、アナログRGB入力共に同期信号をCSで出力します。オフの場合は、内蔵アップコンバート出力はHVで、アナログRGB入力は入力された同期信号をそのまま出力します。

・HV極性設定1、2

HV極性設定1、2は設定の組み合わせにより以下の極性操作が可能です。

組み合わせ				動作
HV極性設定1	オン	HV極性設定2	オン	RGB入力、コンバーター出力ともに出力する同期信号の極性を正極性に固定
HV極性設定1	オン	HV極性設定2	オフ	RGB入力、コンバーター出力ともに出力する同期信号の極性を負極性に固定
HV極性設定1	オフ	HV極性設定2	オン	コンバーターが出力する同期信号を反転して出力 (RGB入力は入力された極性で出力)
HV極性設定1	オフ	HV極性設定2	オフ	コンバーターが出力する同期信号をそのまま出力 (RGB入力は入力された極性で出力)

・HV波形整形

この設定をオンにすると、アナログRGB入力部において発生する可能性がある、インピーダンス不整合等で生ずる同期信号のノイズを、ある程度除去することが可能です。HV波形整形オフの状態ですら正常に動作している場合は、そのまま使用してください。

注意！ インピーダンス不整合以外が原因のノイズは除去できません。

6 . シリアル外部制御

RS232C、RS422Aを接続することにより、本製品を外部機器より制御することが可能です。
シリアル外部制御時においては、クロスポイント操作、オーディオボリューム制御、状態読出し、各種設定等の操作が可能です。

6 - 1 . シリアルインターフェイスの設定

パソコン等で外部制御を行う場合は、パソコンを以下の設定にしてください。

通信速度	: 9600bps(工場出荷時設定)
データ長	: 8ビット
ストップビット長	: 1ビット
パリティチェック	: なし
フロー制御	: なし
通信方式	: 全2重

通信速度はDIPスイッチにより変更可能です。

詳しくは" 5 . DIPスイッチの設定"を参照してください。

本製品のシリアルインターフェイス部は、それぞれ256バイトのバッファを持っています。
シリアルコマンドはすべてバッファに格納され、先に入力されたコマンドから順に処理します。
処理速度がコマンドの入力速度に追いつかない場合はバッファがオーバーフローし、以後のコマンドは破棄されます。1つのシリアルコマンド処理時間は最長80ms程度です。

6 - 2 .ケーブル結線

・RS232Cケーブル結線

本製品のRS232C（DSUB9ピン オス）のケーブル結線例を以下の図に示します。



4ピンと6ピン、7ピンと8ピンはそれぞれ内部で短絡されています。
1ピンと9ピンは未接続となっています。PC等とはストレートケーブルで接続可能です。

・RS422Aケーブル結線

本製品のRS422A（DSUB9ピン メス）のケーブル結線例を以下の図に示します。



6 - 3 .クロスポイント操作

シリアルコマンドにてクロスポイントを切り替える場合は、以下のコマンドを使用します。

- ・映像・音声を連動して切り替える場合

コマンド構造

送信	入力CH	,	出力CH	CR(リターン)	アンサーバック(設定による)
受信	入力CH	,	出力CH	CR(リターン)	

入力CHに入るコマンド

チャンネル	キャラクタ	ASCIIコード
IN1	1	31H
IN2	2	32H
IN3	3	33H
IN4	4	34H
IN5	5	35H
IN6	6	36H
IN7	7	37H
IN8	8	38H
INOFF	q	71H

出力CHに入るコマンド

チャンネル	キャラクタ	ASCIIコード
RGBOUT	1	31H
NTSCOUT	n	6EH
OUTALL	r	72H

例 映像・音声のクロスポイントをIN2-RGBOUTに設定する

キャラクタ表現	2	,	1	CR(リターン)
ASCII表現	32H	2CH	31H	0DH

注意! IN5～8のモニター出力のコマンドを受け付けた場合は、音声のみ切り替わります。映像のクロスポイントは切り替わりません。また、IN5～8のOUTALLのコマンドを受け付けた場合は、モニター出力の映像のクロスポイントは切り替わりません。音声のクロスポイントのみ切り替わります。

・映像のみ切り替える場合

コマンド構造

送信	V	入力CH	,	出力CH	CR(リターン)
受信	V	入力CH	,	出力CH	CR(リターン)

アンサーバック(設定による)

入力CH、出力CHに入るコマンドは映像・音声連動時と同じです。

例 1 . 映像のクロスポイントをIN2-RGBOUTに設定する

キャラクタ表現	V	2	,	1	CR(リターン)
ASCII表現	56H	32H	2CH	31H	0DH

注意! IN5~8 モニター出力のコマンドは無効です。クロスポイントは切り替わりません。

・音声のみ切り替える場合

コマンド構造

送信	A	入力CH	,	出力CH	CR(リターン)
受信	A	入力CH	,	出力CH	CR(リターン)

アンサーバック(設定による)

入力CH、出力CHに入るコマンドは映像・音声連動時と同じです。

例 1 . 音声のクロスポイントをIN2-RGBOUTに設定する

キャラクタ表現	A	2	,	1	CR(リターン)
ASCII表現	41H	32H	2CH	31H	0DH

・連動動作

上記のクロスポイント操作コマンドは、コマンド間に";"を挿入することで、最大4つのコマンドを連動して処理することが可能です。ただし、コマンドの中に1つでも無効なコマンドがあった場合は、すべてのコマンドが処理されません。

例 1 . IN1-RGBOUT、IN3-NTSCOUTを同時に切り替えたい場合

キャラクタ表現	1	,	1	;
ASCII表現	31H	2CH	31H	3BH
キャラクタ表現	3	,	n	CR(リターン)
ASCII表現	33H	2CH	6EH	0DH

6 - 4 .セーブ/ロード操作

シリアルコマンドにてクロスポイントのセーブ/ロードを行う場合は以下のコマンドを使用します。

コマンド構造

送信	セーブ/ロード指定	:	メモリバンク番号	CR(リターン)	
受信	セーブ/ロード指定	:	メモリバンク番号	CR(リターン)	アンサーバック(設定による)

コマンド	キャラクタ	ASCIIコード
セーブ	SAM	53H 41H 4DH
ロード	LOM	4CH 4FH 4DH

チャンネル	キャラクタ	ASCIIコード
メモリ1	1	31H
メモリ2	2	32H
メモリ3	3	33H
メモリ4	4	34H
メモリ5	5	35H
メモリ6	6	36H
メモリ7	7	37H
メモリ8	8	38H

例 1 .メモリ1にクロスポイントを保存する

キャラクタ表現	SAM	:	1	CR(リターン)
ASCII表現	53H 41H 4DH	3AH	31H	0DH

2 .メモリ2からクロスポイントを読み出す

キャラクタ表現	LOM	:	2	CR(リターン)
ASCII表現	4CH 4FH 4DH	3AH	32H	0DH

6 - 5 . 音声ボリューム操作

シリアルコマンドにて音声ボリューム操作を行う場合は、以下のコマンドを使用します。

・入力部ボリュームの設定

セレクト音声、ライン音声は0.5dB単位で - 30 ~ + 10dBの範囲で調整が可能です。マイク音声は0.5dB単位で + 10dB ~ + 50dBの範囲で調整が可能です。それぞれ各入力毎に設定可能です。

コマンド構造

送信	ボリューム設定コマンド	:	入力ch	@	設定ボリューム指定	@	ボリューム値	CR(リターン)	
受信	ボリューム設定コマンド	:	入力ch	@	設定ボリューム指定	@	ボリューム値	CR(リターン)	アンサーバック(設定による)

入力部ボリューム設定コマンド

キャラクタ	ASCIIコード
SVI	53H 56H 49H

設定ボリューム指定コマンド

設定ボリューム指定	キャラクタ	ASCIIコード
セレクト音声	0	30H
ライン音声	1	31H
マイク音声	2	32H

入力CHに入るコマンド

チャンネル	キャラクタ	ASCIIコード
IN1	1	31H
IN2	2	32H
IN3	3	33H
IN4	4	34H
IN5	5	35H
IN6	6	36H
IN7	7	37H
IN8	8	38H
INOFF	q	71H

セレクト/ライン音声ボリューム値指定

ボリューム値指定	キャラクタ	ASCIIコード
ボリュームを1dB上げる	P1	50H 31H
+10dB	80	38H 30H
+9.5dB	79	37H 39H
⋮	⋮	⋮
0dB	60	36H 30H
⋮	⋮	⋮
-29.5dB	01	30H 31H
-30dB	00	30H 30H
MUTE	MT	4DH 54H
ボリュームを1dB下げる	M1	4DH 31H

セレクト/ライン音声ボリューム計算式

ボリューム値 = (設定したいボリューム値(dB)+30) × 2

マイク音声ボリューム値指定

ボリューム値指定	キャラクタ	ASCIIコード
ボリュームを1dB上げる	P1	50H 31H
+50dB	80	38H 30H
+49.5dB	79	37H 39H
⋮	⋮	⋮
+10.5dB	01	30H 31H
+10dB	00	30H 30H
MUTE	MT	4DH 54H
ボリュームを1dB下げる	M1	4DH 31H

マイク音声ボリューム計算式

ボリューム値 = (設定したいボリューム値(dB)-10) × 2

例 1 . IN3のセレクト音声を0dBに設定する

キャラクタ表現	SVI	:	3	@	0	@	60	CR(リターン)
ASCII表現	53H 56H 49H	3AH	33H	40H	30H	40H	36H 30H	0DH

・出力部ボリュームの設定

セレクト音声、ライン音声、マイク音声はそれぞれ0.5dB単位で - 34~ + 6dBまたは - 20~ + 20dBの範囲で調整が可能です。出力毎に設定可能です。

コマンド構造

送信	ボリューム設定コマンド	:	出力 ch	@	設定ボリューム指定	@	ボリューム値	CR(リターン)	
受信	ボリューム設定コマンド	:	出力 ch	@	設定ボリューム指定	@	ボリューム値	CR(リターン)	アンサーバック (設定による)

出力部ボリューム設定コマンド

キャラクタ	ASC Iコード
SVO	53H 56H 4FH

設定ボリューム指定コマンド

設定ボリューム指定	キャラクタ	ASC Iコード
セレクト音声	0	30H
ライン音声	1	31H
マイク音声	2	32H

出力CHに入るコマンド

チャンネル	キャラクタ	ASC Iコード
OUT1	1	31H

セレクト/ライン/マイク音声ボリューム値指定

ボリューム値 (dB) -20~ +20dB時	ボリューム値 (dB) -34~ +6dB時	設定ボリューム値	ASC Iコード
ボリュームを1dB上げる		P1	50H 31H
+20dB	+6dB	80	38H 30H
+19.5dB	+5.5dB	79	37H 39H
⋮	⋮	⋮	⋮
14dB	0dB	68	36H 38H
⋮	⋮	⋮	⋮
0dB	-14dB	40	34H 30H
⋮	⋮	⋮	⋮
-19.5dB	-33.5dB	01	30H 31H
-20dB	-34dB	00	30H 30H
MUTE	MUTE	MT	4DH 54H
ボリュームを1dB下げる		M1	4DH 31H

セレクト/ライン/マイク音声ボリューム計算式

-20~ +20dB時 ボリューム値 = (設定したいボリューム値 (dB)+20)× 2

-34~ +6dB時 ボリューム値 = (設定したいボリューム値 (dB)+34)× 2

例 1 . RGBOUTのセレクト音声を0dBに設定する

キャラクタ表現	SVO	:	1	@	0	@	40	CR(リターン)
ASC 表現	53H 56H 4FH	3AH	31H	40H	30H	40H	34H 30H	0DH

注意！ 出力部ボリューム連動設定が有効になっている場合は、セレクトのボリューム変更のみ有効となります。

6 - 6 .状態読出しコマンド

シリアルコマンドにて本製品の状態を読み出す場合は、以下のコマンドを使用します。

・クロスポイントの読出し

コマンド構造

送信	映像音声状態読出コマンド		CR(リターン)		
受信	映像音声状態読出コマンド		CR(リターン)		アンサーバック(設定による)
受信	V	:	出力映像選択ch	;	NTSCアウト映像選択ch
受信	A	:	出力音声選択ch	;	NTSCアウト音声選択ch CR(リターン)

次段に続く

送信	映像状態読出コマンド		CR(リターン)		
受信	映像状態読出コマンド		CR(リターン)		アンサーバック(設定による)
受信	V	:	出力映像選択ch	;	NTSCアウト映像選択ch CR(リターン)

送信	音声状態読出コマンド		CR(リターン)		
受信	音声状態読出コマンド		CR(リターン)		アンサーバック(設定による)
受信	A	:	出力音声選択ch	;	NTSCアウト音声選択ch CR(リターン)

状態読出コマンド

コマンド	キャラクタ	ASCIIコード
映像音声状態読出コマンド	XPM	58H 50H 4DH
映像状態読出コマンド	XPV	58H 50H 56H
音声状態読出コマンド	XPA	58H 50H 41H

各選択CHに入るコマンド

チャンネル	キャラクタ	ASCIIコード
IN1	001	30H 30H 31H
IN2	002	30H 30H 32H
IN3	003	30H 30H 33H
IN4	004	30H 30H 34H
IN5	005	30H 30H 35H
IN6	006	30H 30H 36H
IN7	007	30H 30H 37H
IN8	008	30H 30H 38H
INOFF	000	30H 30H 30H

例 1 .映像・音声のクロスポイントの状態を読み出す。
(IN3 RGBOUT、IN2 モニター出力(映像音声共)の場合)

キャラクタ表現	XPM	CR(リターン)
ASCII表現	58H 50H 4DH	0DH

以下のコマンドが返信される。

キャラクタ表現	XPM	CR(リターン)
ASCII表現	58H 50H 4DH	0DH

キャラクタ表現	V	:	003	;	002	,
ASCII表現	56H	3AH	30H 30H 33H	3BH	30H 30H 32H	2CH
キャラクタ表現	A	:	003	;	002	CR(リターン)
ASCII表現	41H	3AH	30H 30H 33H	3BH	30H 30H 32H	0DH

次段に続く

・音声ボリューム値の読出し

コマンド構造

送信	入力部ボリューム読出コマンド	:	入力CH	CR(リターン)	
受信	入力部ボリューム読出コマンド	:	入力CH	CR(リターン)	アンサーバック(設定による)
受信	セレクト音声ボリューム値	:	ライン音声ボリューム値	:	マイク音声ボリューム値 CR(リターン)

送信	出力部ボリューム読出コマンド	:	出力CH	CR(リターン)	
受信	出力部ボリューム読出コマンド	:	出力CH	CR(リターン)	アンサーバック(設定による)
受信	セレクト音声ボリューム値	:	ライン音声ボリューム値	:	マイク音声ボリューム値 CR(リターン)

ボリューム読出コマンド

コマンド	キャラクタ	ASCIIコード
入力ボリューム読出コマンド	LVI	4CH 56H 49H
出力ボリューム読出コマンド	LVO	4CH 56H 4FH

入力CHに入るコマンド

チャンネル	キャラクタ	ASCIIコード
IN1	1	31H
IN2	2	32H
IN3	3	33H
IN4	4	34H
IN5	5	35H
IN6	6	36H
IN7	7	37H
IN8	8	38H
INOFF	q	71H

出力CHに入るコマンド

チャンネル	キャラクタ	ASCIIコード
OUT1	1	31H

入力ボリューム読み取り時
セレクト音声、ライン音声

読取ったボリューム値	ASCIIコード	ボリューム値指定
80	38H 30H	+10dB
79	37H 39H	+9.5dB
⋮	⋮	⋮
60	36H 30H	0dB
⋮	⋮	⋮
01	30H 31H	-29.5dB
00	30H 30H	-30dB
MT	4DH 54H	MUTE

セレクト/ライン音声ボリューム計算式
 $\text{ボリューム値(dB)} = (\text{読取ったボリューム値} - 60) / 2$

マイク音声

読取ったボリューム値	ASCIIコード	ボリューム値指定
80	38H 30H	+50dB
79	38H 30H	+49.5dB
⋮	⋮	⋮
01	30H 31H	+10.5dB
00	30H 30H	+10dB
MT	4DH 54H	MUTE

マイク音声ボリューム計算式
 $\text{ボリューム値(dB)} = (\text{読取ったボリューム値} + 20) / 2$

出力ボリューム読み取り時
セレクト音声、ライン音声、マイク音声

読取ったボリューム値	ASCIIコード	ボリューム値(dB)	ボリューム値(dB)
		-20 ~ +20dB時	-34 ~ +6dB時
80	38H 30H	+20dB	+6dB
79	37H 39H	+19.5dB	+5.5dB
⋮	⋮	⋮	⋮
68	36H 38H	14dB	0dB
⋮	⋮	⋮	⋮
40	34H 30H	0dB	-14dB
⋮	⋮	⋮	⋮
01	30H 31H	-19.5dB	-33.5dB
00	30H 30H	-20dB	-34dB
MT	4DH 54H	MUTE	MUTE

音声ボリューム計算式
 -20 ~ +20dB ボリューム値(dB) = (読取ったボリューム値 - 40) / 2
 -34 ~ +6dB ボリューム値(dB) = (読取ったボリューム値 - 68) / 2

注意! 入力部ボリューム読出しにおいて、IN OFFの読出し時のセレクト音声値は常にミュートとなります。

- 例 1 . IN4の入力部ボリュームを読み出す
(IN4のボリュームがセレクト音声0dB、ライン音声+10dB、マイク音声ミュートのとき)

キャラクタ表現	LVI	:	4	CR(リターン)
ASCII表現	4CH 56H 49H	3AH	34H	0DH

以下のコマンドが返信される。

キャラクタ表現	LVI	:	4	CR(リターン)		
ASCII表現	4CH 56H 49H	3AH	34H	0DH		
キャラクタ表現	60	;	80	;	MT	CR(リターン)
ASCII表現	36H 30H	3BH	38H 30H	3BH	4DH 54H	0DH

- 2 . RGBOUTの出力部ボリュームを読み出す
(RGBOUTのボリュームがセレクト音声0dB、ライン音声0dB、マイク音声-20dBのとき)

キャラクタ表現	LVO	:	1	CR(リターン)
ASCII表現	4CH 56H 4FH	3AH	31H	0DH

以下のコマンドが返信される。

キャラクタ表現	LVO	:	1	CR(リターン)		
ASCII表現	4CH 56H 4FH	3AH	31H	0DH		
キャラクタ表現	40	;	40	;	00	CR(リターン)
ASCII表現	34H 30H	3BH	34H 30H	3BH	30H 30H	0DH

6 - 7 . IP設定コマンド

シリアルコマンドにてIP関連の設定を行う場合は、以下のコマンドを使用します。

注意! IP設定コマンドは再起動後に有効になります。

・ IPアドレスの設定

コマンド構造

送信	IPアドレス設定コマンド	:	IP設定アドレス	.	IP設定アドレス	.	IP設定アドレス	.	IP設定アドレス	.	CR(リターン)	
受信	IPアドレス設定コマンド	:	IP設定アドレス	.	IP設定アドレス	.	IP設定アドレス	.	IP設定アドレス	.	CR(リターン)	アンサーバック(設定による)

IPアドレス設定コマンド

キャラクタ表現	SET:IPA
ASCII表現	53H 45H 54H 3AH 49H 50H 41H

4桁のIPアドレスには0~255までの数値を入れます。

例 1 . IPアドレスを20.60.30.255に設定する

キャラクタ表現	SET:IPA	:	20	.	60	.	30	.	255	CR(リターン)
受信	53H 45H 54H 3AH 49H 50H 41H	3AH	32H 30H	2EH	36H 30H	2EH	33H 30H	2EH	32H 35H 35H	0DH

・ サブネットマスクの設定

コマンド構造

送信	サブネットマスク設定コマンド	:	サブネットマスク	.	サブネットマスク	.	サブネットマスク	.	サブネットマスク	.	CR(リターン)	
受信	サブネットマスク設定コマンド	:	サブネットマスク	.	サブネットマスク	.	サブネットマスク	.	サブネットマスク	.	0DH	アンサーバック(設定による)

サブネットマスク設定コマンド

キャラクタ表現	ASCIIコード
SET:SNM	53H 45H 54H 3AH 53H 4EH 4DH

4桁のサブネットマスクには0~255までの数値を入れます。

例 1 . サブネットマスクを255.255.0.0に設定する

キャラクタ表現	SET:SNM	:	255	.	255	.	0	.	0	CR(リターン)
受信	53H 45H 54H 3AH 53H 4EH 4DH	3AH	32H 35H 35H	2EH	32H 35H 35H	2EH	30H	2EH	30H	0DH

・TCP/IPポートの設定

コマンド構造

送信	ポート設定コマンド	:	ポート番号	CR(リターン)
受信	ポート設定コマンド	:	ポート番号	CR(リターン)

ポート設定コマンド

キャラクタ	ASCIIコード
SET:PRT	53H 45H 54H 3AH 50H 52H 54H

TCP/IPポートは1024～65535の間で設定可能です。

例 1 . TCP/IPポートを50000に設定する。

キャラクタ表現	SET:PRT	:	50000	CR(リターン)
ASCII表現	53H 45H 54H 3AH 50H 52H 54H	3AH	35H 30H 30H 30H 30H	0DH

・IP設定の読出し

コマンド構造

送信	設定読出しコマンド	CR(リターン)
受信	設定読出しコマンド	CR(リターン)

受信	IP	:	IP設定アドレス	.	IP設定アドレス	.	IP設定アドレス	.	IP設定アドレス	CR(リターン)
受信	SM	:	サブネットマスク	.	サブネットマスク	.	サブネットマスク	.	サブネットマスク	CR(リターン)

受信	PORT	:	ポート番号	CR(リターン)
----	------	---	-------	----------

受信	MAC	:	MACアドレス	-	MACアドレス	-	MACアドレス	-	MACアドレス	-	MACアドレス	-	MACアドレス	CR(リターン)
----	-----	---	---------	---	---------	---	---------	---	---------	---	---------	---	---------	----------

設定読出しコマンド

キャラクタ	ASCIIコード
GET:IPS	47H 45H 54H 3AH 49H 50H 53H

注意! IP設定の読出しは、次回起動される際に設定される設定値を読み出します。したがってIP設定を変更し、再起動を行わずにIP設定の読出しを行いますと、実際に動作している設定値と読み出された設定値が異なる場合があります。

6 - 8 . ビジーコマンド

本製品には受信したコマンドを実行できない状態があります。このときコマンドを受信すると処理は行われず、以下のコマンドをアンサーバックとして返します。

・ オンスクリーンメニュー表示中及びメニューボタン点滅中

本製品はオンスクリーンメニュー表示中及びメニューボタン点滅中は、シリアルコマンドの処理はできません。コマンドを受信すると、以下のコマンドをアンサーバックします。

キャラクタ表現	BSY:OSD	CR(リターン)
ASCII表現	42H 53H 59H 3AH 4FH 53H 44H	0DH

・ セーブボタン点灯中

本製品はセーブボタン点灯中、シリアルコマンドの処理はできません。コマンドを受信すると、以下のコマンドをアンサーバックします。

キャラクタ表現	BSY:SAV	CR(リターン)
ASCII表現	42H 53H 59H 3AH 53H 41H 56H	0DH

・ ロードボタン点灯中

本製品はロードボタン点灯中、シリアルコマンドの処理はできません。コマンドを受信すると、以下のコマンドをアンサーバックします。

キャラクタ表現	BSY:LOD	CR(リターン)
ASCII表現	42H 53H 59H 3AH 4CH 4FH 44H	0DH

7 . パラレル外部制御

本製品はパラレルポートからクロスポイント操作、クロスポイントのセーブ/ロードの制御を行うことが可能です。また出力部ボリューム連動設定が有効である場合は、1dB単位で出力部ボリュームの調整を行うことが可能です。

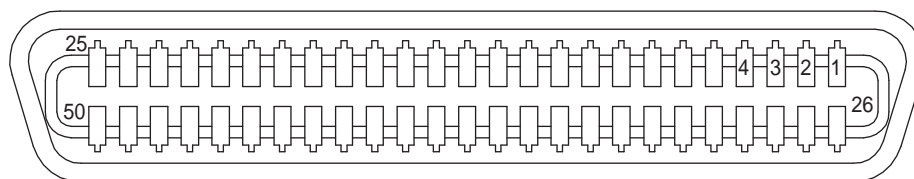
7 - 1 .ピンアサイン

TALLY OUT			PARALLEL REMOTE		
ピン	機能		ピン	機能	
1	IN1	RGBOUT	26	IN1	RGBOUT
2	IN2	RGBOUT	27	IN2	RGBOUT
3	IN3	RGBOUT	28	IN3	RGBOUT
4	IN4	RGBOUT	29	IN4	RGBOUT
5	IN5	RGBOUT	30	IN5	RGBOUT
6	IN6	RGBOUT	31	IN6	RGBOUT
7	IN7	RGBOUT	32	IN7	RGBOUT
8	IN8	RGBOUT	33	IN8	RGBOUT
9	OFF	RGBOUT	34	OFF	RGBOUT
10	IN1	NTSCOUT	35	IN1	NTSCOUT
11	IN2	NTSCOUT	36	IN2	NTSCOUT
12	IN3	NTSCOUT	37	IN3	NTSCOUT
13	IN4	NTSCOUT	38	IN4	NTSCOUT
14	OFF	NTSCOUT	39	OFF	NTSCOUT
15	RESERVE		40	RESERVE	
16	RESERVE		41	RESERVE	
17	RESERVE		42	RESERVE	
18	RESERVE		43	RESERVE	
19	RESERVE		44	RESERVE	
20	OUT1ボリューム上げ		45	OUT1ボリューム上げ	
21	OUT1ボリューム下げ		46	OUT1ボリューム下げ	
22	SAVE		47	SAVE	
23	LOAD		48	LOAD	
24	+5V		49	+5V	
25	GND		50	GND	

注意! RESERVEには何も接続しないでください。

注意! 出力部ボリューム連動設定が無効の場合、20,21 45,46ピンは機能しません。

7 - 2 .コネクタピン配置

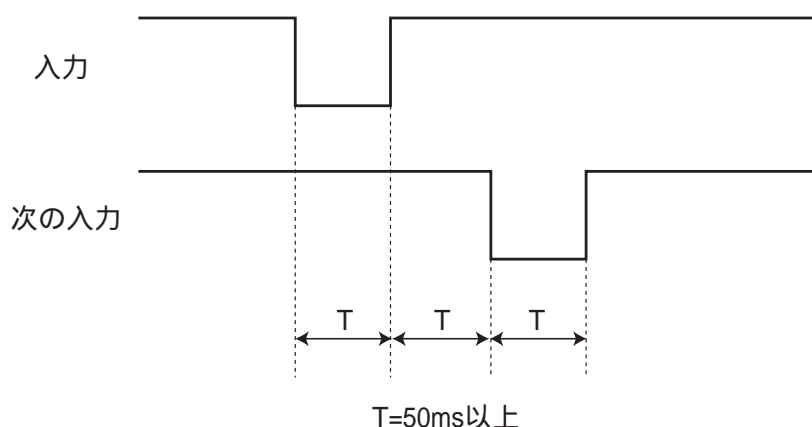


適合プラグ 第一電子工業(株)(DDK) 57- 30500

7 - 3 .使用方法

パラレルインターフェイスにより操作を行う場合は、希望する接点をモーメンタリースイッチ(ノンロック)または、トランジスタのオープンコレクタ等による無電圧接点を使用して制御してください。

制御を行う場合は以下の図に示すようなパルス幅で入力してください。ただし、異なる出力段の入力は同時にパラレルリモート入力を受け付けることが可能です。



タリー出力はオープンコレクタ(TD62083：東芝セミコンダクター(株))で出力しています。最大電圧は45V、最大負荷電流は60mA以下としてください。それを超えると故障の原因になります。LEDを点灯させる際は直接使用するのではなく、使用するLEDにより抵抗を介し電流制限してください。また、本製品の5V出力を使用する場合は、取り出す電流の合計値を500mA以下としてください。本製品で使用しているオープンコレクタ回路は、0～60mAの間で0.6～0.8V程度のVce(sat)が発生します。また、本製品のタリー出力回路には100Ωの保護抵抗が内蔵されています。これらを考慮して電流制限抵抗の値を決めてください。

例 5Vの電源電圧を使用し、LEDに15mAの電流を流したい場合の電流制限抵抗の求め方
ただし、ダイオードによる電圧降下は2.0Vとする

$$5V(\text{電源電圧}) = 2.0V(\text{ダイオード順電圧}) + (R(\text{制限抵抗}) + 100(\text{保護抵抗})) \times 0.015A + 0.7V(V_{ce}(\text{sat}))$$

R 56

8 . LANによる外部制御

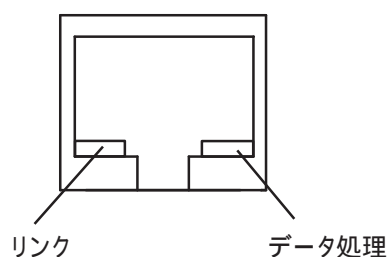
本製品はLANにより外部制御を行うことが可能です。

8 - 1 .特徴

- ・ 10BASE - T/100BASE - TXによる通信が可能（自動認識）
- ・ 全二重/半二重による通信が可能（自動認識）
- ・ TCP/IPで制御が可能（同時に4コネクションまで）
- ・ WEBブラウザからの制御が可能
対応ブラウザ：
 - ・ WEBブラウザ操作画面をカスタマイズすることが可能

8 - 2 .コネクタ部LED

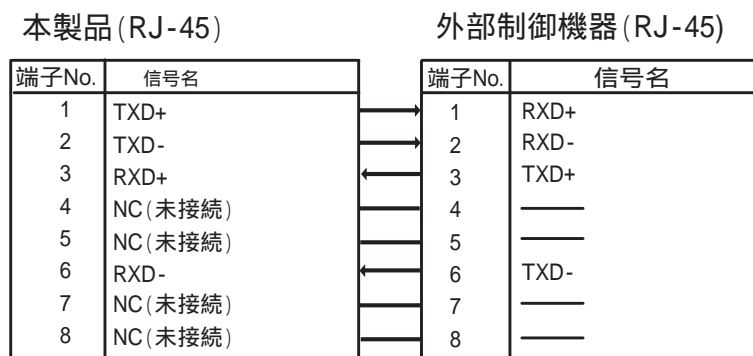
本製品のLANコネクタ部のLEDには以下に示す機能が割り当てられています。



8 - 3 .ケーブル結線

本製品のケーブルの結線図を以下に示します。

本製品とPC等を直接接続する場合はクロスケーブルで接続してください。ハブ等を介して接続する場合はストレートケーブルで接続してください。



8 - 4 .IPアドレス、TCP/IPポート、MACアドレス

工場出荷時のIPアドレス、サブネットマスク、ポート設定については、"1 - 2 出荷時の設定"を参照してください。設定はシリアル、LANにて変更可能です。

詳しくは"6 - 7 IP設定コマンド"、"8 - 7 WEB設定画面の表示"を参照してください。

また、TCP/IPポートの設定範囲は1024～65535となっております。

MACアドレスは以下に示す設定となっております。下位3バイトは製品1台毎に異なる値が設定されています。

MACアドレス 00 - 05 - 5C - XX - XX - XX

MACアドレスはシリアル、LANにて値を読み出すことが可能です。詳しくは"6 - 7 IP設定コマンド"、"8 - 5 TCP/IP接続による外部制御"を参照してください。

注意! MACアドレスは変更できません。

8 - 5 .TCP/IP接続による外部制御

本製品に設定したIPアドレス、ポート番号にTELNETクライアント等で接続し、以下のログインコマンドを送信しますと、本製品の制御が可能になります。
ログインするまではログインコマンド以外のコマンドを受け付けません。
工場出荷時に設定されているパスワードについては、"1 - 2 出荷時の設定"を参照してください。

コマンド構造

送信	ログインコマンド	:	現在のパスワード	CR(リターン)
受信	ログイン確認コマンド	CR(リターン)		

ログインコマンド		ログイン確認コマンド		
キャラクタ	ASCIIコード	キャラクタ	ASCIIコード	
TCP:LGI	54H 43H 50H 3AH 4CH 47H 49H	OK	4FH 4BH	ログインできた場合
		NG	4EH 47H	ログインできなかった場合

ログイン後は、RS232C、RS422Aと同じコマンドが実行可能です。以下のログアウトコマンドを送信しますと、本製品の制御からログアウトし、ログイン前の状態に戻ります。

コマンド構造

送信	ログアウトコマンド	CR(リターン)
受信	ログアウトコマンド	CR(リターン)

ログアウトコマンド	
キャラクタ	ASCIIコード
TCP:LGO	54H 43H 50H 3AH 4CH 47H 4FH

パスワードを変更する場合は以下のコマンドを使用します。パスワードは半角英数8文字以内としてください。記号は使用できません。

コマンド構造

送信	パスワード変更コマンド	:	現在のパスワード	:	新しいパスワード	:	新しいパスワード	CR(リターン)
受信	パスワード変更確認コマンド	CR(リターン)						

パスワード変更コマンド		パスワード変更確認コマンド		
キャラクタ	ASCIIコード	キャラクタ	ASCIIコード	
TCP:CHP	54H 43H 50H 3AH 43H 48H 50H	OK	4FH 4BH	パスワードが変更できた場合
		NG	4EH 47H	パスワードが変更できなかった場合

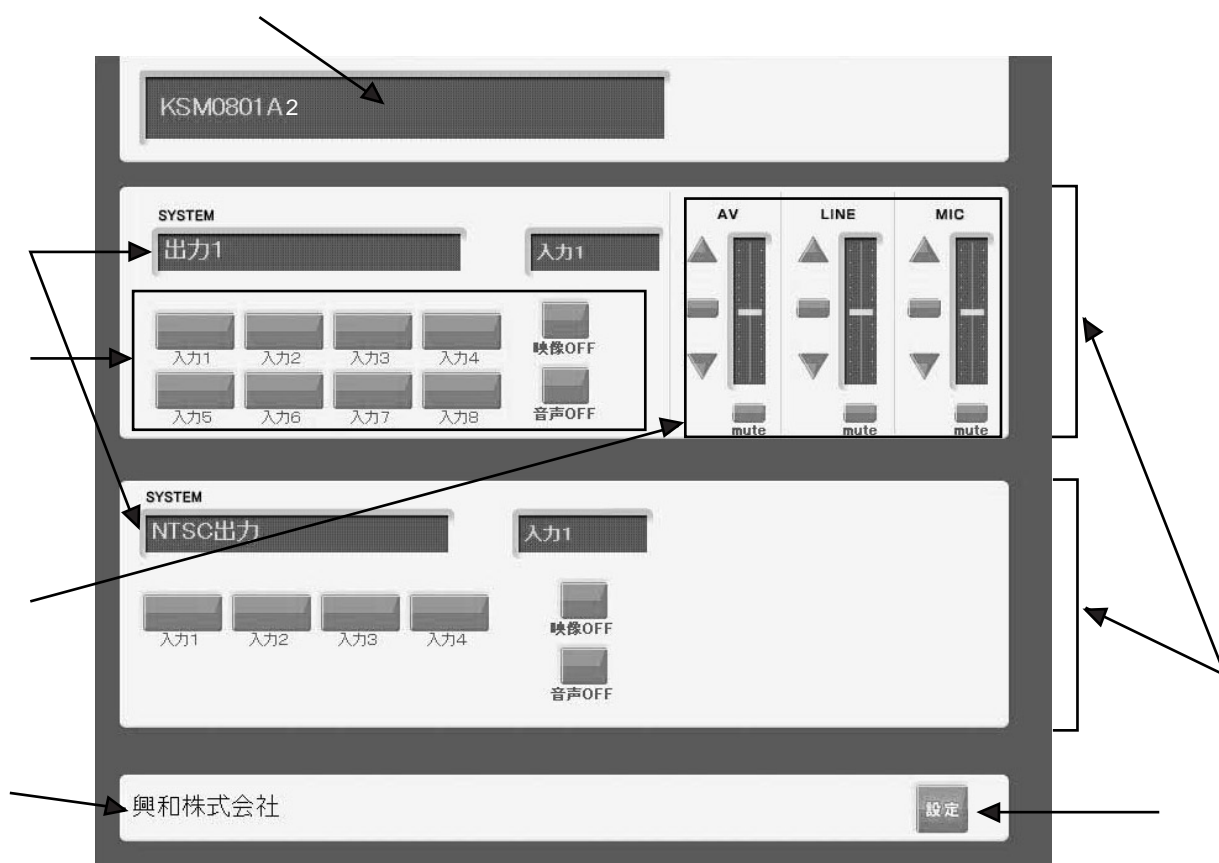
TCP/IPでの接続は同時に4コネクションまでとなっております。

注意! 本体背面のDIPスイッチにて旧製品と互換性のあるシリアルコマンドを使用する設定にした場合は、TCP/IPのコマンドも互換性のあるコマンドに変更されます。

注意! パスワードを忘れてしまった場合は、当社営業部までお問い合わせください。

8 - 6 .WEB運用画面の表示

本製品のIPアドレスに対し、WEBブラウザでアクセスすると以下の画面が表示され、WEBブラウザより本製品の制御が可能になります。
WEBブラウザでアクセスする際は、ブラウザのアドレスバーに"HTTP://XX.XX.XX.XX"と打ち込んでください。XX.XX.XX.XXは本製品のIPアドレスです。WEBアクセス認証設定を有効にしている場合は、初回アクセス時にパスワードを要求されますので、パスワード欄に設定されているパスワードを入力してください。ユーザー名では認証を行っていないため、ユーザー名は入力しなくても問題ありません。
工場出荷時のパスワードについては、"1 - 2 出荷時の設定"を参照してください。



システム名

使用する部屋やシステムの名称を表示します。WEB設定画面でカスタマイズ可能です。

RGBOUT、モニター出力制御領域

本製品のクロスポイント操作や、音声ボリュームの操作が行えます。WEB設定画面で各出力毎に表示/非表示の設定が可能です。

注意! モニター用音声信号出力にはミキシング及びボリューム調整機能はありません。

RGBOUT、モニター出力接続機器名称

各出力に接続される機器の名称を表示します。WEB設定画面でカスタマイズ可能です。

入力選択ボタン

各出力に対する入力を選択するボタンです。WEB設定画面でボタンの名称をカスタマイズ可能です。

ボリューム制御部

出力部ボリュームの制御が2dB単位で可能です。""で音量の調整ができ、""で0dBへの設定、""で音声のミュートが可能です。WEB設定画面でAV、LINE、MIC毎に表示/非表示の設定が可能です。

注意! ボリューム連動設定をしている場合は、LINE、MICボリュームは表示されません。
また、コマンドも無効になります。

コメント表示部

コメントを表示することが可能です。WEB設定画面でカスタマイズ可能です。

設定画面へのジャンプボタン

WEB設定画面へ移動します。WEBアクセス認証設定を有効にしている場合は、WEB設定画面を開く際、別途パスワードの入力が必要です。

(WEB設定画面とWEB運用画面のパスワードを同じにすることでパスワードの入力を無くすることができます。)

注意! WEB運用画面とWEB設定画面のパスワードを同じにした場合、設定画面へのジャンプボタンを押したときにパスワード入力のダイアログボックスは表示されません。

8 - 7 .WEB設定画面の表示

WEB運用画面の"設定画面へのジャンプボタン"をクリックすると以下の画面が表示され、WEB操作画面のカスタマイズが可能になります。
 WEBアクセス認証設定を有効にしている場合は、初回アクセス時にパスワードを要求されますので、パスワード欄に設定されているパスワードを入力してください。ユーザー名では認証を行っていないため、ユーザー名は入力しなくても問題ありません。

工場出荷時のパスワードについては、"1 - 2 出荷時の設定"を参照してください。

設定画面

←

表示設定

システム名	<input type="text" value="KSM0801A2"/>	(KSM0801A2)	
OUT1 接続機器名	<input type="text" value="出力1"/>	(出力1)	
NTSC出力機器名	<input type="text" value="NTSC出力"/>	(NTSC出力)	
制御ボタン表示	OUT1	NTSCOUT	
	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
OUT1ボリューム表示	AV機器	ライン音声	マイク音声
	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
画面の自動更新	<input type="text" value="none"/>		

ボタン名と入力音量レベル調整(dB)の設定

	ボタン名	AV機器	ライン音声	マイク音声
IN1	<input type="text" value="入力1"/> (入力1)	<input type="text" value="0"/> (0)	<input type="text" value="0"/> (0)	<input type="text" value="MUTE"/> (MUTE)
IN2	<input type="text" value="入力2"/> (入力2)	<input type="text" value="0"/> (0)	<input type="text" value="0"/> (0)	<input type="text" value="MUTE"/> (MUTE)
IN3	<input type="text" value="入力3"/> (入力3)	<input type="text" value="0"/> (0)	<input type="text" value="0"/> (0)	<input type="text" value="MUTE"/> (MUTE)
IN4	<input type="text" value="入力4"/> (入力4)	<input type="text" value="0"/> (0)	<input type="text" value="0"/> (0)	<input type="text" value="MUTE"/> (MUTE)
IN5	<input type="text" value="入力5"/> (入力5)	<input type="text" value="0"/> (0)	<input type="text" value="0"/> (0)	<input type="text" value="MUTE"/> (MUTE)
IN6	<input type="text" value="入力6"/> (入力6)	<input type="text" value="0"/> (0)	<input type="text" value="0"/> (0)	<input type="text" value="MUTE"/> (MUTE)
IN7	<input type="text" value="入力7"/> (入力7)	<input type="text" value="0"/> (0)	<input type="text" value="0"/> (0)	<input type="text" value="MUTE"/> (MUTE)
IN8	<input type="text" value="入力8"/> (入力8)	<input type="text" value="0"/> (0)	<input type="text" value="0"/> (0)	<input type="text" value="MUTE"/> (MUTE)
OFF	-	-	<input type="text" value=""/> ()	<input type="text" value=""/> ()

コメントの入力

コメント欄	<input type="text" value="興和株式会社"/> (興和株式会社)
-------	---

IP 設定		※設定の変更は、次回起動時に反映されます	変更
MACアドレス	00-05-5C-00-00-00		
IPアドレス	10 (10) 50 (50) 13 (13) 63 (63)		
サブネットマスク	255 (255) 255 (255) 255 (255) 0 (0)		
ポート番号	49152 (49152)		

設定画面パスワード変更		※設定の変更は、次回起動時に反映されます	変更
新しいパスワード	<input type="password"/>		
再入力	<input type="password"/>		

運用画面パスワード変更		※設定の変更は、次回起動時に反映されます	変更
新しいパスワード	<input type="password"/>		
再入力	<input type="password"/>		

スイッチャー再起動

http://www.kowa.co.jp/i-master/
 HELP i-master@kowa.co.jp

システム名称

使用する部屋やシステムの名称を入力します。全角20文字の入力制限があります。ただし、半角の場合は40文字まで入力可能です。

OUT1接続機器名称

本製品の各出力に接続される機器の名称を入力します。全角10文字の入力制限があります。ただし、半角の場合は20文字まで入力可能です。

制御ボタン表示

各出力の制御領域の表示/非表示を設定します。

ボリューム表示設定

各出力のボリュームの表示/非表示を設定します。

画面の更新設定

WEB操作画面の自動更新の設定を行います。

入力選択ボタン名称

入力機器の名称を入力します。全角6文字の入力制限があります。ただし、半角の場合は12文字まで入力可能です。

注意! ボタン名に何も入力しない場合や、半角スペースのみの場合はボタン名がデフォルト("入力1"等)に戻ります。ボタン名に何も表示させたくない場合は全角スペースを挿入してください。

入力部ボリューム設定

各入力の入力部ボリュームの設定を行います。0.5dB単位で設定が可能です。半角英数字を入力してください。

例	5dBに設定する場合	"5"と入力
	- 10.5dBに設定する場合	"-10.5"と入力
	ミュートしたい場合	"MUTE"または"- "と入力

注意! 入力部ボリュームに何も入力しない場合はデフォルト値{AV機器：0 ライン音声：0
マイク音声：-(MUTE)}に戻ります。

コメント入力部

操作画面下のコメント表示部に表示するコメントを入力します。全角64文字まで入力可能です。

設定ボタン

クリックしますと、 ~ で入力した項目の設定を行い、変更後の設定を入力ボックスの下または右隣に表示します。

IP設定変更

IPアドレス、サブネットマスク、TCP/IPポートの変更が可能です。半角数字で入力してください。"変更ボタン"をクリックしますと、入力した数値を読み込み、変更後の値を入力ボックスの右隣に表示します。

注意! IP設定の変更は本製品再起動後に反映されます。

パスワード変更

WEB運用画面パスワード、WEB設定画面パスワードの変更が可能です。パスワードは半角英数字で8文字以内としてください。記号は使用できません。

またWEB運用画面、WEB設定画面のパスワードを同じにすることでWEB設定画面に移動する際のパスワード入力を無くすことができます。

注意! パスワードを忘れてしまった場合は、当社営業部までご連絡ください。

注意! WEB運用画面とWEB設定画面のパスワードを同じにした場合、設定画面へのジャンプボタンを押したときにパスワード入力のダイアログボックスは表示されません。

再起動ボタン

このボタンをクリックしますと、本製品が再起動されます。

各種リンク

当社製品関連ホームページ、メールアドレスへのリンク、WEB画面の操作方法説明ページへのリンクです。

9 . 主な仕様

型名	KSM0801A2	
入力チャンネル数	RGB : 4CH NTSC : 4CH セレクト音声 : 8CH(ステレオ) ライン音声 : 1CH(ステレオ) マイク音声 : 2CH(モノラル)	
出力チャンネル数	RGB : 1CH NTSC : 1CH 1 音声 : 2CH(ステレオ) 2(全2分配出力)	
入出力コネクタ	映像 : BNC ライン音声 : RCAピンジャック マイク音声 : XLR-3-31, 6.3mmTRSフォンジャック	
映像入力信号	アナログRGB R,G,B : 0.7Vp-p(Sync on Green時 1.0Vp-p) 75 HD(C.SY),VD : 1~4Vp-p 75 NTSCコンポジット 1.0Vp-p 75	
映像出力信号	アナログRGB R,G,B : 0.7Vp-p(Sync on Green時 1.0Vp-p) 75 HD(C.SY),VD : TTLレベル 75 ドライブ NTSCコンポジット 1.0Vp-p 75	
映像帯域	アナログRGB 40Hz ~ 150MHz ± 1 dB 150 ~ 250MHz -3 ~ +1dB NTSCコンポジット 60Hz ~ 6MHz ± 1 dB 6MHz ~ 10MHz -3 ~ 0dB	
コンバーター出力解像度	VGA(60Hz), SVGA(60Hz), XGA(60Hz), SXGA(60Hz) VESA規格準拠 1360x768(60Hz), SXGA+(60Hz)	
コンバーター水平解像度	約500TV本(XGA出力時)	
入出力映像遅延	68ms以下(VIDEO RGBコンパート時)	
音声入力信号	ライン入力 : -10dBu 47k マイク入力 : -60dBu 10k	
音声出力信号	出力 : -10dBu 負荷10k 以上	
音声帯域	ライン入力 : 20Hz ~ 20kHz ± 1 dB マイク入力 : 300Hz ~ 5kHz ± 1 dB	
音声レベル可変範囲	入力部 ライン入力 : -30dB ~ +10dB 0.5dBステップ マイク入力 : +10dB ~ +50dB 0.5dBステップ 出力部 -34dB ~ +6dB 0.5dBステップ または -20dB ~ +20dB 0.5dBステップ	
音声クロストーク	80dB以上	
音声S/N比	80dB以上	
外部制御	音声歪率	0.01%以下 マイク入力:2.0%以下
	音声最大入力レベル	ライン入力 : +16dBu マイク入力 : -24dBu
	RS-232C	1系統 DSUB9ピン(インチネジ) オス
	RS-422A	1系統 DSUB9ピン(インチネジ) メス
パラレルI/O	アンフェノール50P メスx1	
LAN(TCP/IP)	RJ-45コネクタ	
使用温湿度条件	温度 : 0 ~ 40 湿度 : 20 ~ 80%(結露しないこと)	
電源電圧	AC100V $\pm 10\%$ 50/60Hz	
消費電力	約20W	
外形寸法	W422mm x D300mm x H88mm(2U)	
質量	約5kg	
付属品	ラックマウント金具, 取扱説明書ACケーブル, 保証書	

1 NTSC出力(映像)はIN1 ~ 4から選択

2 NTSC出力(音声)はレベル可変不可(ボリューム操作はできません)



興和株式会社 電機光学事業部

東京営業：〒103-8433 東京都中央区日本橋本町3-4-14 TEL.(03)5623-8078 FAX.(03)5623-8070

大阪営業：〒541-8511 大阪市中央区淡路町2-3-5 TEL.(06)6204-6185 FAX.(06)6204-6188